

授業と評価の年間計画

教科	国語	科目	現代文B		
使用教科書(発行所)	改訂版現代文B (数研出版)				
履修条件 対象生徒	必修 普通科(文型) 3年				
学習目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を身に付ける。				
学習方法	<p>【授業】 論理的な文章については、指示語・接続詞・具体例・段落構成に留意しながら論理の展開や要旨を的確に把握し、筆者の主張を理解する。文学的な文章については、表現を味わい、その表現から想像できる心情、情景などをとらえる。</p> <p>【家庭】 授業中に指示された課題(週末課題を含む)は、計画的に取り組み、期日を守って提出する。辞書や副教材を利用して主体的な学習を心がける。</p>				
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 中間検査まで 評論「『文化が違う』とは何を意味するか」 小説『赤い繭』 (2) 期末検査まで 評論『顔の所有』 小説『檸檬』	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章を読む力を向上させる。 自分の意見を持ち、今後の生き方に反映させる。 長めの文章を読み、要点をつかみ、まとめる力を向上させる。 筆者の意見に対する自分の意見を、論理的に考える。 登場人物の心情を、本文を根拠に考察する。 			
	2 2学期 (1) 中間検査まで 評論「人はなぜ働かなくてはならないのか」 小説「舞姫」』 (2) 期末検査まで 評論「消費されるスポーツ」 評論「メディアのテロル」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の言葉のとらえ方に注目しながら、文章の趣旨を理解する。 文章に描き出された人物像を的確にとらえる。 人間と文学の関係を考え、自分の意見を表現する。 大学入試を念頭に置いて、読解力を向上させるため、知識を深め、マーク式や記述式問題の演習に取り組む。 			
	3 3学期 評論「無常ということ」	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な評論文を通じて「歴史」の持つ意味について考えさせる。 			
評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについて理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	①定期検査 ②授業態度 ③課題・提出物を総合的に判断して評価する。				
その他					